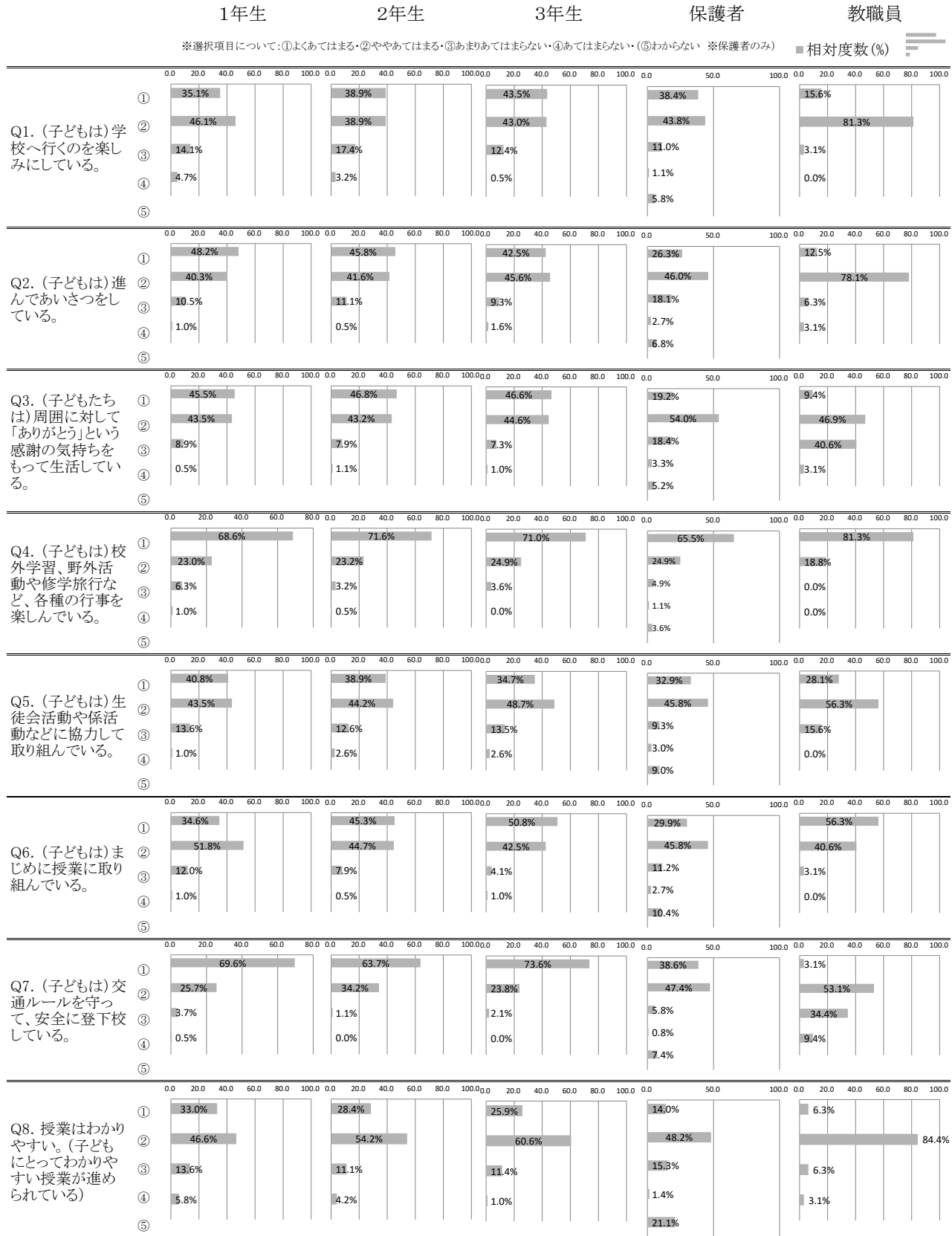
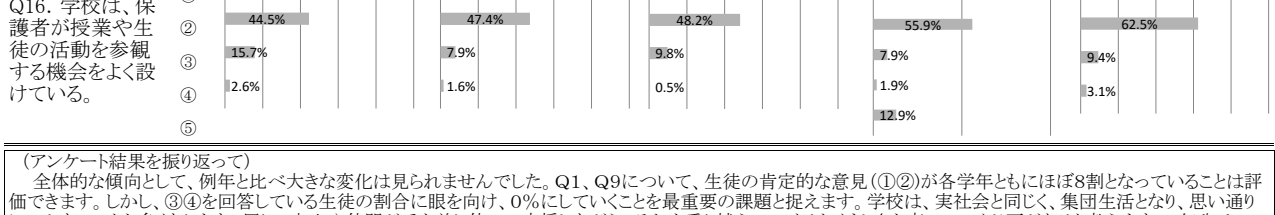
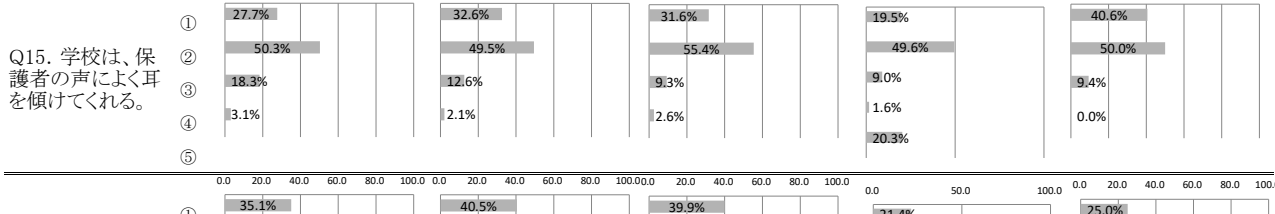
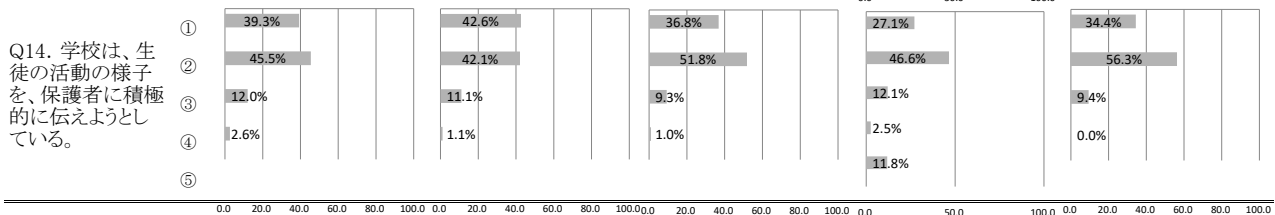
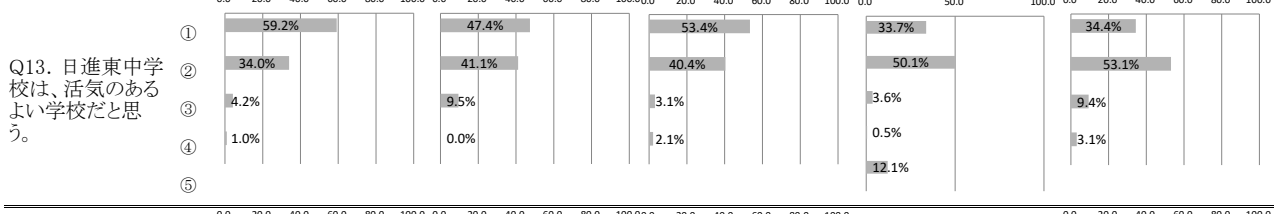
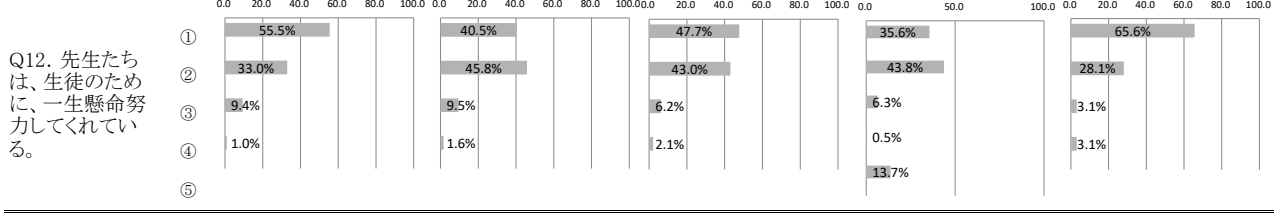
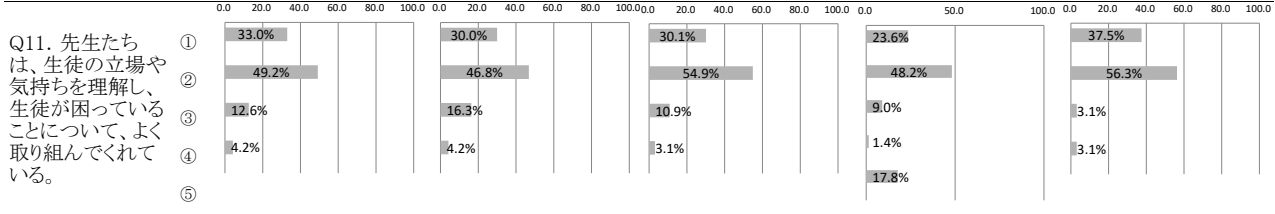
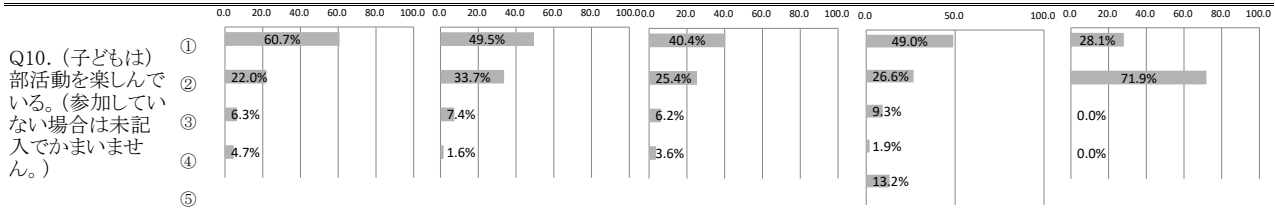
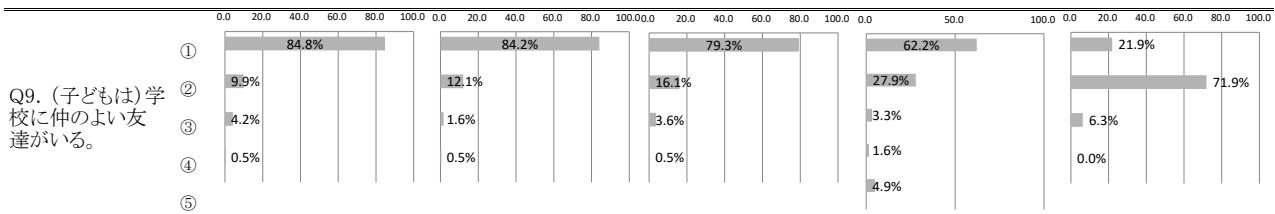


令和元年度第1学期学校評価アンケートの集計結果のお知らせ

日進市立日進東中学校長 説田 正

令和元年7月に実施しました学校評価アンケートの結果は以下のとおりです。





(アンケート結果を振り返って)  
 全体的な傾向として、例年と比べ大きな変化は見られませんでした。Q1、Q9について、生徒の肯定的な意見(①②)が各学年ともにほぼ8割となっていることは評価できます。しかし、③④を回答している生徒の割合に眼を向け、0%にしていくことを最重要な課題と捉えます。学校は、実社会と同じく、集団生活となり、思い通りにいかないことも多くなります。周りの大人や仲間が手を差し伸べて支援しながら、それを乗り越えていけるたくましさや育っていく必要があると考えます。1年生は、いわゆる中1ギャップを感じている生徒、2年生は、昨年1年を通して、自分の内面を見つめる機会が多くなり、自分の思いと現実の違いに悩み、葛藤する生徒、3年生は進路などで不安を抱えている生徒も多いと思われます。きめ細やかな指導を心がけ、生徒と向き合い、心に寄り添う努力を、さらに重ねていく必要があります。Q2、Q3の「あいさつ」「周りへの感謝」の①②の回答率が高いことは喜ばしいことではありますが、保護者や教職員との捉え方の違いも見受けられます。多くの場面で、あいさつや感謝の思いが、自然と出るように、心の教育を大切にしていきたいと考えます。Q6、Q8については、①②の割合が高いものの、①の割合が高くなるよう、分かる授業の工夫が必要です。Q8については、③④と答えている教職員が9.4パーセントもいることを反省し、③④と答えている生徒にしっかりと目を向けて、研修を深め、きめ細かな指導を心がけていきます。Q11、Q12の2、3年生の①②と答えた生徒の割合は、昨年度の1、2年生と比較をすると、高くなっているものの、やはり③④と答えている生徒の思いを大切にし、生徒一人一人に対して、心に寄り添った取組ができるよう、今後の指導に反映していかなければなりません。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。